

報道関係者各位

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス  
2013年3月期連結決算のお知らせ

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：和田 洋一、以下当社）は、本日、2013年3月期の決算発表を行いましたのでお知らせいたします。

財務ハイライト

	百万円		
	2013年3月期	2012年3月期	前年比
売上高	147,981	127,896	+15.7%
営業利益	△6,081	10,713	—
経常利益	△4,378	10,297	—
純利益	△13,714	6,060	—
1株当たり純利益	△119.19円	52.66円	—

詳細な情報は、本日開示の決算短信 ([www.hd.square-enix.com/jpn/13q4tanshin.pdf](http://www.hd.square-enix.com/jpn/13q4tanshin.pdf)) をご参照下さい。  
ご参考：スクウェア・エニックス・ホールディングス IRページ <http://www.square-enix.com/jpn/ir/>

当期の業績の概要は以下の通りです。

当社グループは、昨今のゲーム事業の環境変化を踏まえ、開発方針の変更、組織体制の見直し、一部ビジネスモデルの変更等を行うこととしました。2013年3月期の業績は、経常段階での損失に加え、これらによる特別損失の発生を主要因として、13,714百万円の当期純損失を計上いたしました。

デジタルエンタテインメント事業においては、欧米における家庭用ゲーム機向けの大型ソフト販売が伸び悩み、営業損益の水準が大きく低下しました。一方、スマートフォン等をプラットフォームとしたコンテンツにおいては、既存タイトルが引き続き収益に貢献したほか、「拡散性ミリオンアーサー」など新規タイトルも順調に伸長しております。また、昨年8月にサービスを開始した「ドラゴンクエストX 目覚めし五つの種族オンライン」の運営は、堅調に進捗しております。

アミューズメント事業においては、アミューズメント施設運営は堅調に推移しているものの、当連結会計年度に発売したアミューズメント機器の不振の影響により、損益面で厳しい状況となりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、欧米における家庭用ゲーム機向けソフト市場の競争激化・寡占化が進む一方、スマートフォン、タブレットPC等のスマートデバイスが急速に普及するなど、大きな変革期にあります。当社は、このような環境変化を踏まえ、事業構造の改革を進めることによって、新たな収益基盤を確立し、収益性を改善する取り組みを強力に進めてまいります。

以 上

<ご参考>

## 株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスについて

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスは、多彩なコンテンツ／サービス事業を展開しているスクウェア・エニックス・グループを統括する純粋持株会社です。当社グループは、スクウェア・エニックス、タイトー、アイドスなどの国際的ブランドのもと上質なエンターテインメント・コンテンツ／サービスを提供しています。また、先進的な開発拠点を日本、北米および欧州に配置し、国際的な事業推進体制を構築しています。当社グループの自社IPの代表作には「ドラゴンクエスト」シリーズ（パッケージゲーム累計出荷本数6,100万本以上）、「ファイナルファンタジー」シリーズ（1億本以上）、「トゥームレイダー」シリーズ（3,500万本以上）、「スペースインベーダー」シリーズなどがあります。（<http://www.square-enix.com/>）

※SQUARE ENIX および SQUARE ENIX ロゴ、ドラゴンクエスト／DRAGON QUEST、ファイナルファンタジー／FINAL FANTASY、トゥームレイダー／TOMB RAIDER、スペースインベーダー／SPACE INVADERS、その他の社名、商品名は、日本およびその他の国におけるスクウェア・エニックス・グループの商標または登録商標です。  
※その他、記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

## 【報道ご関係者からの本件に関するお問合せ】

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス グループ経営推進部  
TEL : 03-5292-8166（直通）／ E-MAIL : [ccir@square-enix.com](mailto:ccir@square-enix.com)